

近畿農政局のご紹介

～国家公務員一般職(農業土木・調査計画系)の仕事～



近畿農政局の魅力

- ① 最先端技術
- ② スキルアップ
- ③ 世界規模の仕事

3つ目は 世界規模の仕事

令和8年1月

農林水産省

近畿農政局 農村振興部 設計課

近畿農政局 採用
ホームページ



近畿農政局 農村振興部
リクルートビデオ



— 資料目次 —

- 1 農林水産省の組織と
農業土木・調査計画系について ……P 1
- 2 試験・採用区分と一般職キャリアパス ……P 9
- 3 近畿農政局の概要と一般職の業務 ……P14
- 4 採用プロセス ……P33
- 5 研修・福利厚生とワークライフバランス ……P35

1 農林水産省の組織と農業土木・調査計画系について

- 農林水産省のビジョン・ステートメントと組織
- 農業土木・調査計画系のミッション
- 農業土木・調査計画系職員が携わる政策内容

農林水産省ビジョン・ステートメント

いのち わたしたち農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

食料



農業



農村



農林水産省の組織

本省

(約5千人)

大臣官房

新事業・食品産業部

統計部

検査・監察部

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

農村政策部

整備部

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁



農林水産省(本省)



有識者を交えた政策検討会議

地方出先機関等

(約1万5千人)

地方農政局

国営事業所等

森林管理局

漁業調整事務所

植物防疫所

動物検疫所

動物医薬品検査所

農林水産政策研究所



農業農村整備事業(国営事業)の実施



国営造成施設の調査・管理等の実施

農業土木・調査計画系のミッション

- ◆ 先人から受け継いだ農地や水（農業用水）を守り、さらに発展させる**農業・農村の基盤整備**と、



地域の創意工夫ある取組を後押しする**地域活性化**の政策により、



魅力ある農業・農村を次世代に引き継ぐこと！

- ◆ さらには、蓄積された**基盤整備の技術やノウハウ**を用いて、国内のみならず**世界**の食料や農業・農村の課題の解決に貢献すること！



日本の農業・農村の基盤をつくる農業農村整備

スマート農業の実現、強い農業の礎を築く。

○生産コストの削減と収益力の強化のため、自動走行農機やICT水管理等のスマート農業の実装を可能とする水田の大区画化、水田の汎用化、畑地かんがい等の基盤整備を推進。



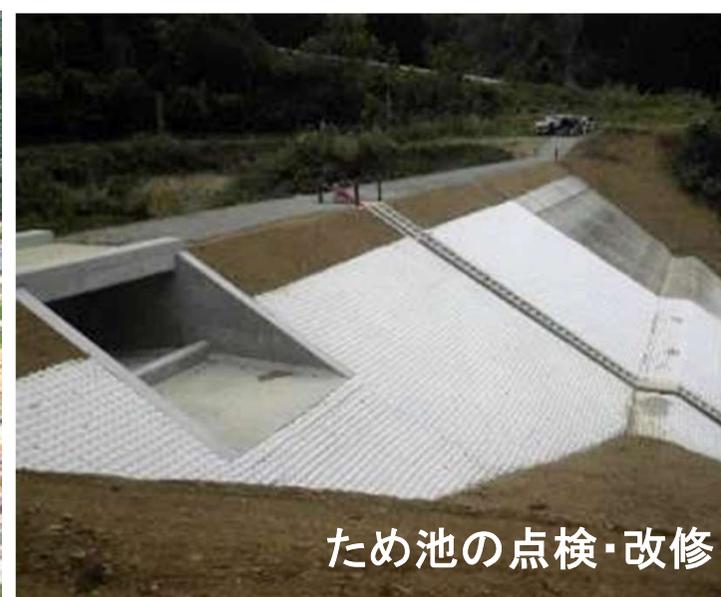
全国

- 大区画水田の割合 10.6%
(50 a 以上区画)
- 排水良好ではない水田 49万ha
(30 a 程度以上区画のうち)
- 畑地かんがい整備済の割合 24.2%

「農業農村振興整備部会
令和元年度第4回 資料3」より

インフラを保全・管理し、災害から農業・農村を守る。

- 頻発化・激甚化する災害に対応し、農業・農村を強靱化するため、老朽化した農業水利施設の改修・耐震対策、排水施設の整備、既存ダムの洪水調節機能強化、田んぼダムなどによる流域治水を推進しています。



頭首工の耐震化(堰柱の拡幅)



洪水から農村地域を守る調整池や排水路



農業用ダムからの事前放流

農村地域の活性化のための様々な取組

- 農村地域では、少子高齢化・人口減少が進行する一方、「田園回帰」など農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価されており、農村振興局では、地域活性化の取組を後押しする様々な政策を立案・実施しています。

しごと

- 農村発イノベーション
(6次産業化のほか、地域資源と他分野を組合せて新しい事業を創出する取組)
 - ・農泊の推進
 - ・ジビエ利用の拡大
 - ・農福連携の推進



くらし

- 地域コミュニティ機能の維持・強化
 - ・多面的機能支払交付金、中山間地等直接支払交付金
 - ・農村地域づくり事業体※の育成
- 生活インフラの確保 (情報通信環境等)
- 鳥獣被害対策



活力

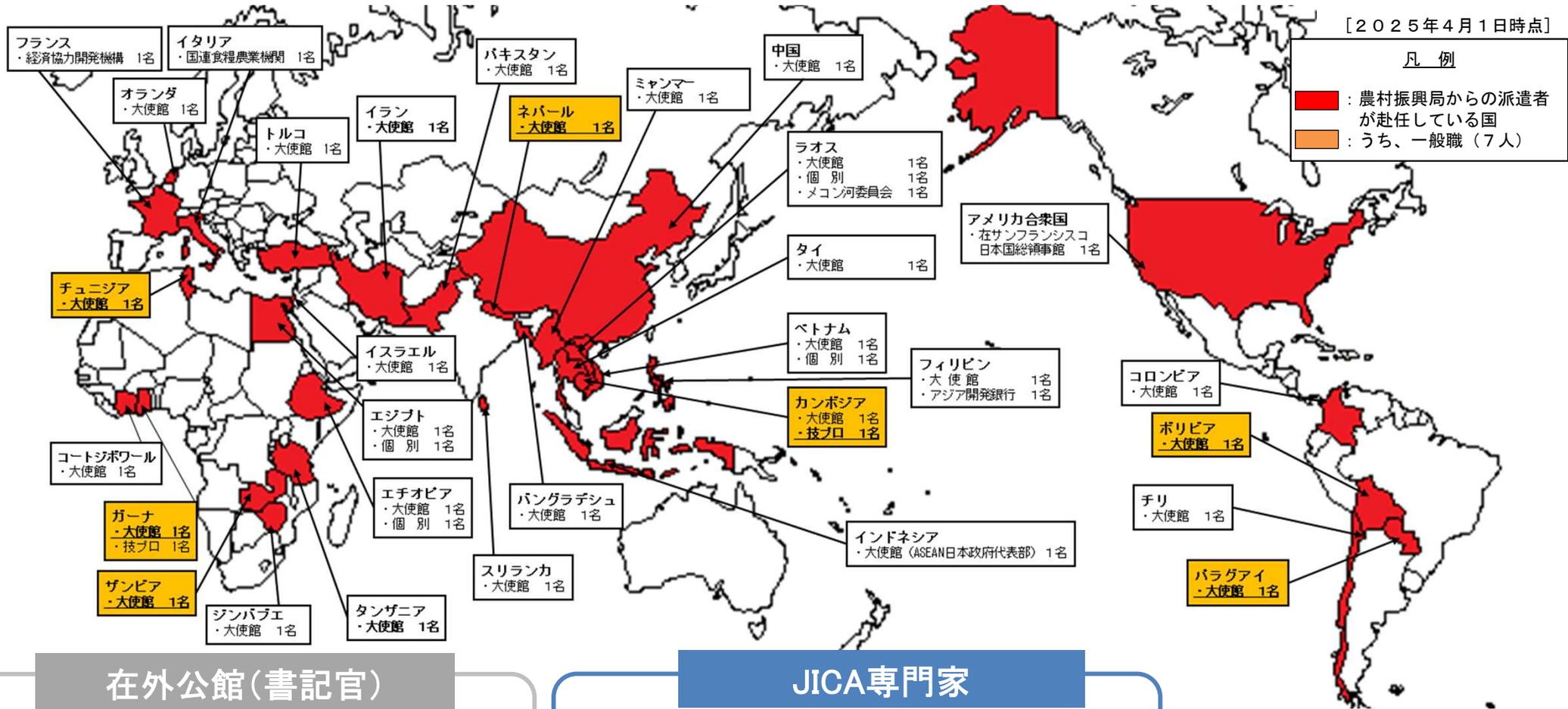
- 地域を支える体制、人材づくり
 - ・農村プロデューサー養成講座
- 農村の魅力の発信、国民の理解の促進
 - ・ディスカバー農山漁村の宝 (優良事例表彰)
 - ・世界農業遺産・日本農業遺産、世界かんがい施設遺産の認定
 - ・棚田地域の振興と魅力の発信 (優良事例集、棚田カード等)



農業農村開発分野における国際協力

○ 農村振興局では、アジアの国々との技術交流の実施、国際的な枠組み (ICID, INWEPF など) と連携した灌漑技術の展開、政府開発援助 (ODA) による事業の実施等により国際社会に貢献。

○ 一般職の農業土木系職員では、ネパールやザンビアなどの大使館等にて外交官又は専門家として赴任中 (7人)。



在外公館 (書記官)

○ 外交官としての業務

○ ODA (政府開発援助) の企画・実施管理、農産物貿易交渉の調整等



JICA 専門家

○ 現地政府機関等の政策アドバイザー

○ 技術協力プロジェクトの専門家 (灌漑、水管理等)



国際機関

○ 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援業務

2 試験・採用区分と一般職キャリアパス

- 試験・採用区分と配属先、業務の特徴
- 総合職と一般職の役割
- キャリアパス(一般職) 農業土木・調査計画系

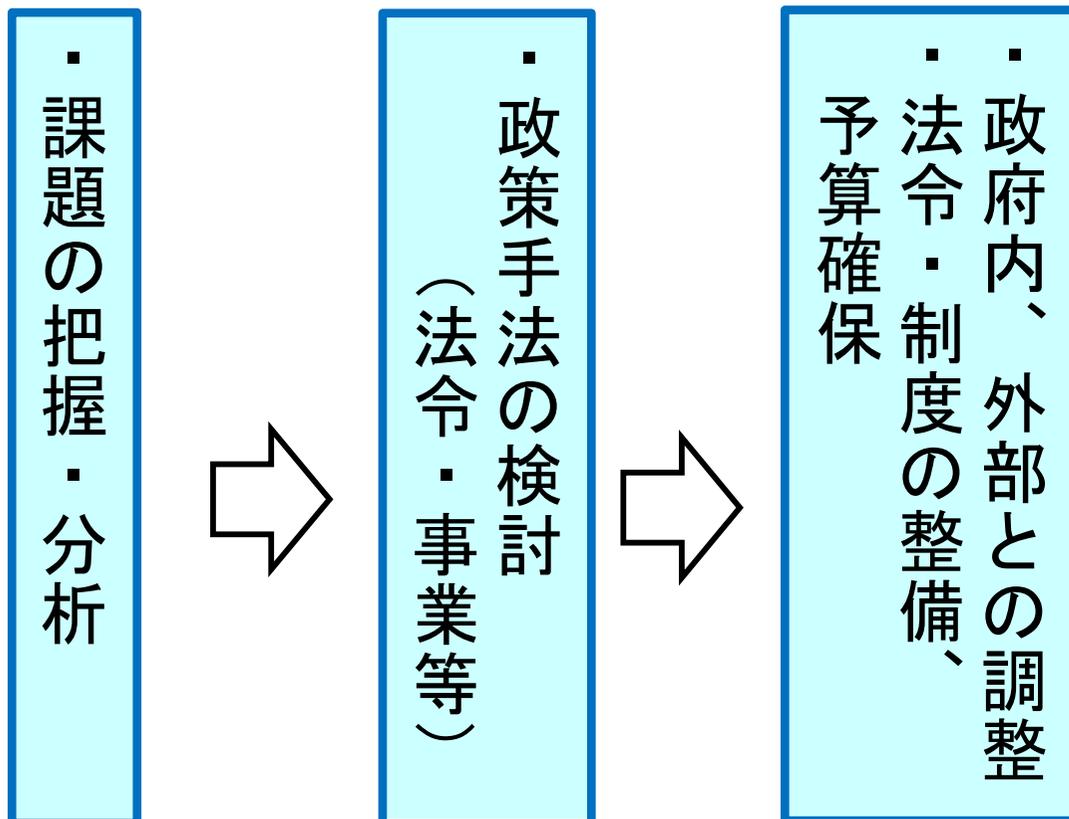
試験区分・採用区分等

試験区分・採用区分	配属先や業務の特徴	
<p>【総合職】 農業工学系</p> <p>試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 (農業機械を除く) ・ 工学 (うち電気、電子、通信、機械) ・ デジタル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本省で全国的視点に立った施策の企画・立案、農政局で各地域の実情を踏まえた調整や農業農村整備事業の実施。 ○ 他省庁や地方公共団体、海外での業務 (大使館書記官やJICA専門家など) もある。 	
<p>【一般職】 農業土木・調査計画系</p> <p>試験区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業農村工学 ・ 機械 ・ デジタル・電気・電子 ・ 土木 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農学、物理、化学 (調査計画のみ) 	<p>農業土木</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の実施等農村の地域づくりに関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、国営事業所等。(本省や海外等での仕事の機会もある)。
	<p>調査計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業農村整備事業の計画づくりや農村の景観・環境・文化等の地域資源を活用した地域活性化の取組等に関する業務。 ○ 主な配属先は、各農政局の本局、土地改良調査管理事務所、本省等。

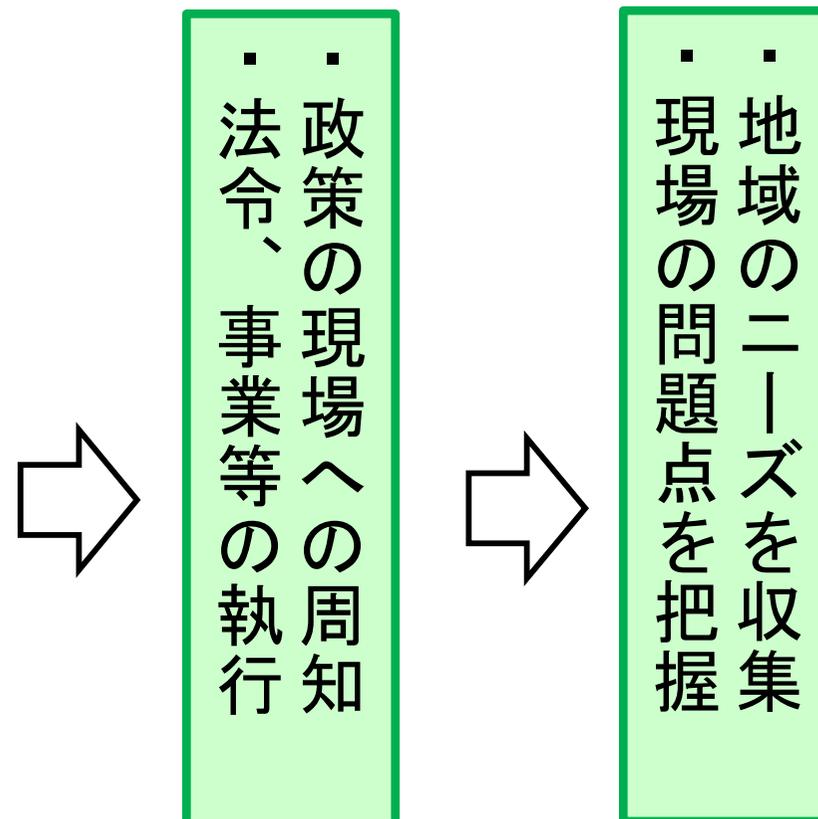
※R5.3.1より、一般職採用区分の名称が、これまでの「農村振興技術系」から「農業土木・調査計画系」に変更となりました。

政策の企画・立案から実行までの流れ

政策の企画立案



政策の実行



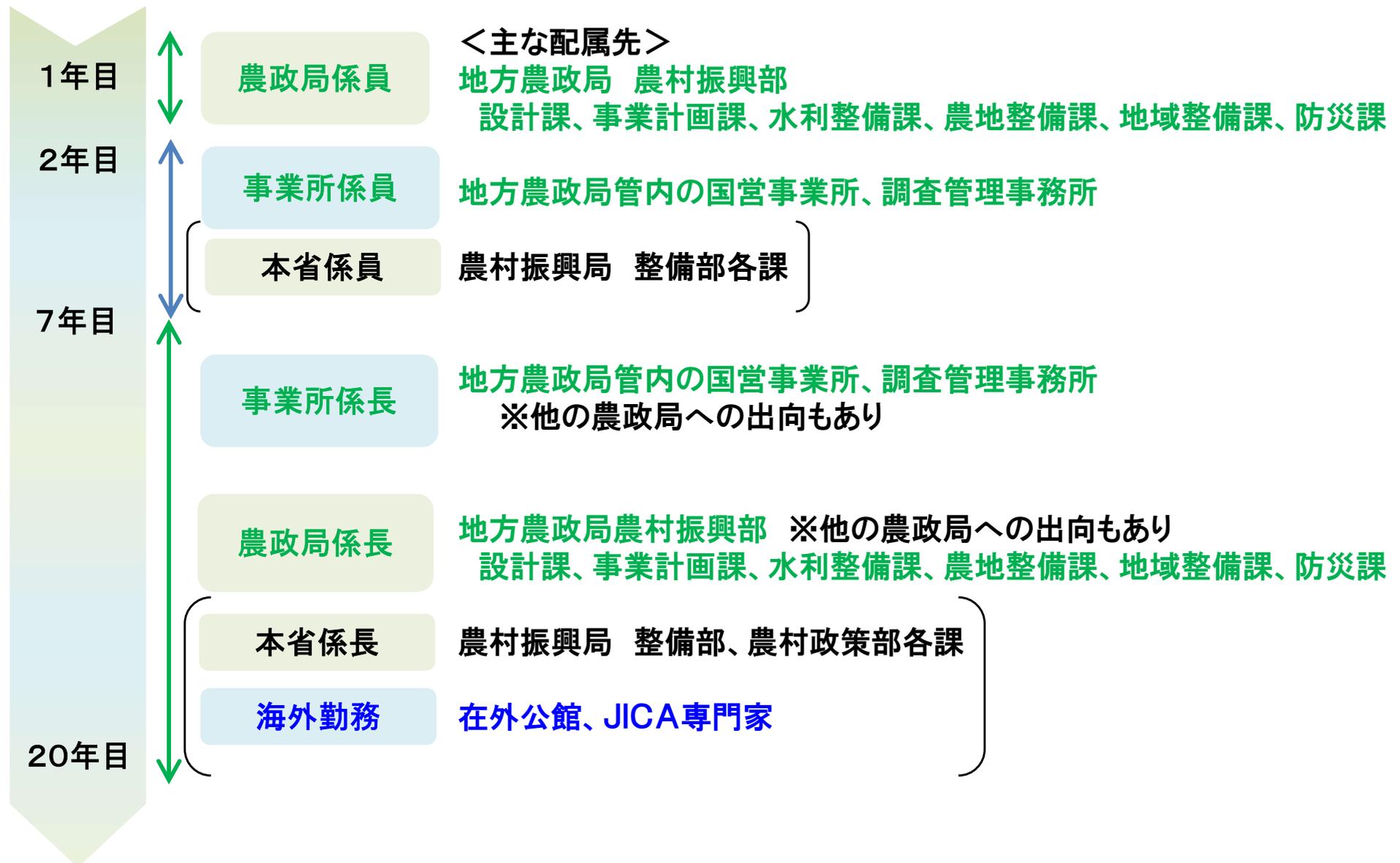
主に本省

総合職：本省で採用。
本省勤務が多い。

主に地方農政局等

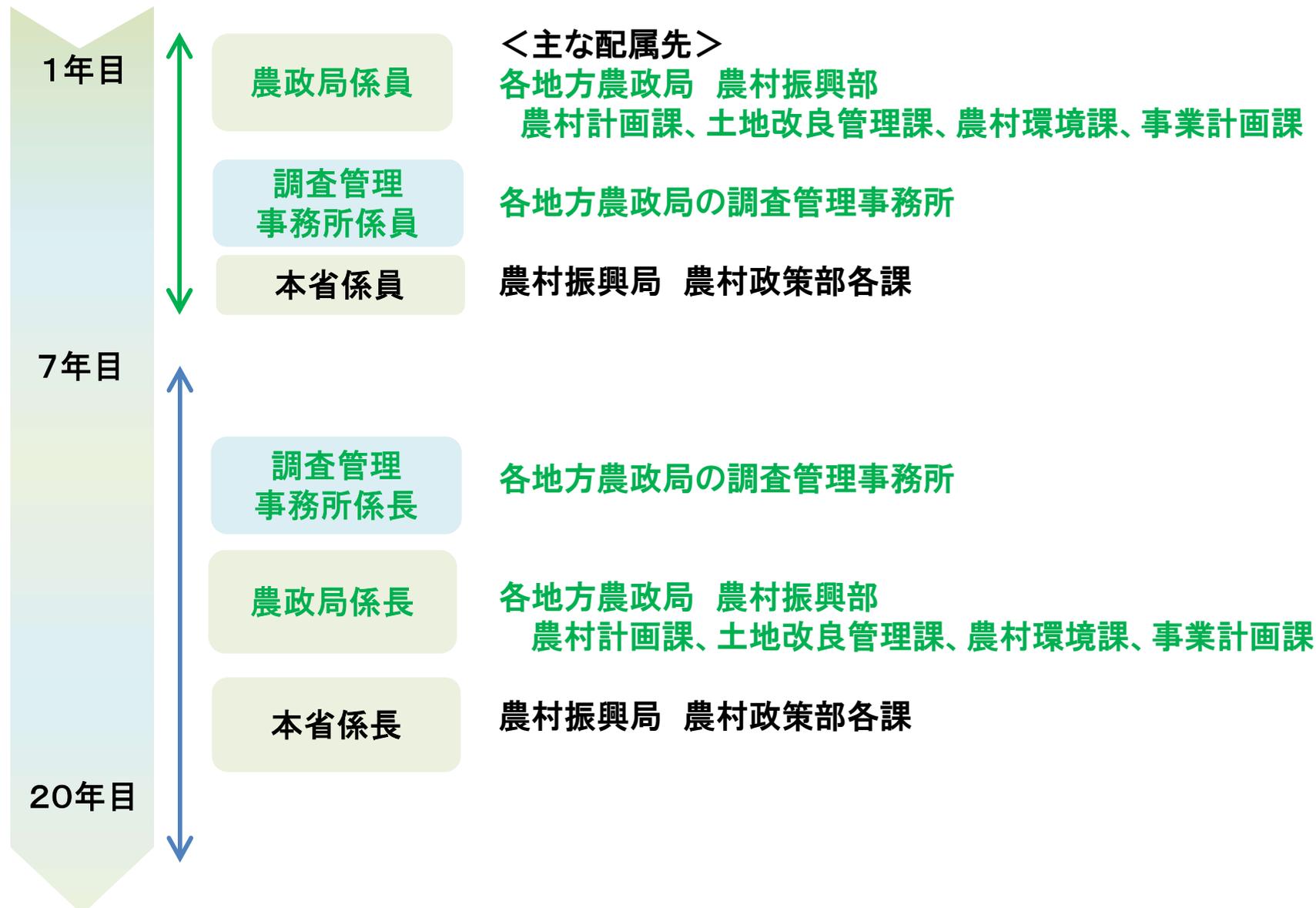
一般職：各農政局で採用。
農政局勤務が多い。

一般職（農業土木系）のキャリアパスの例



その後は、国営事業所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省や他省庁の課長補佐、地方農政局の管理職や国営事業所の幹部といったキャリアを経験。

一般職（調査計画系）のキャリアパスの例



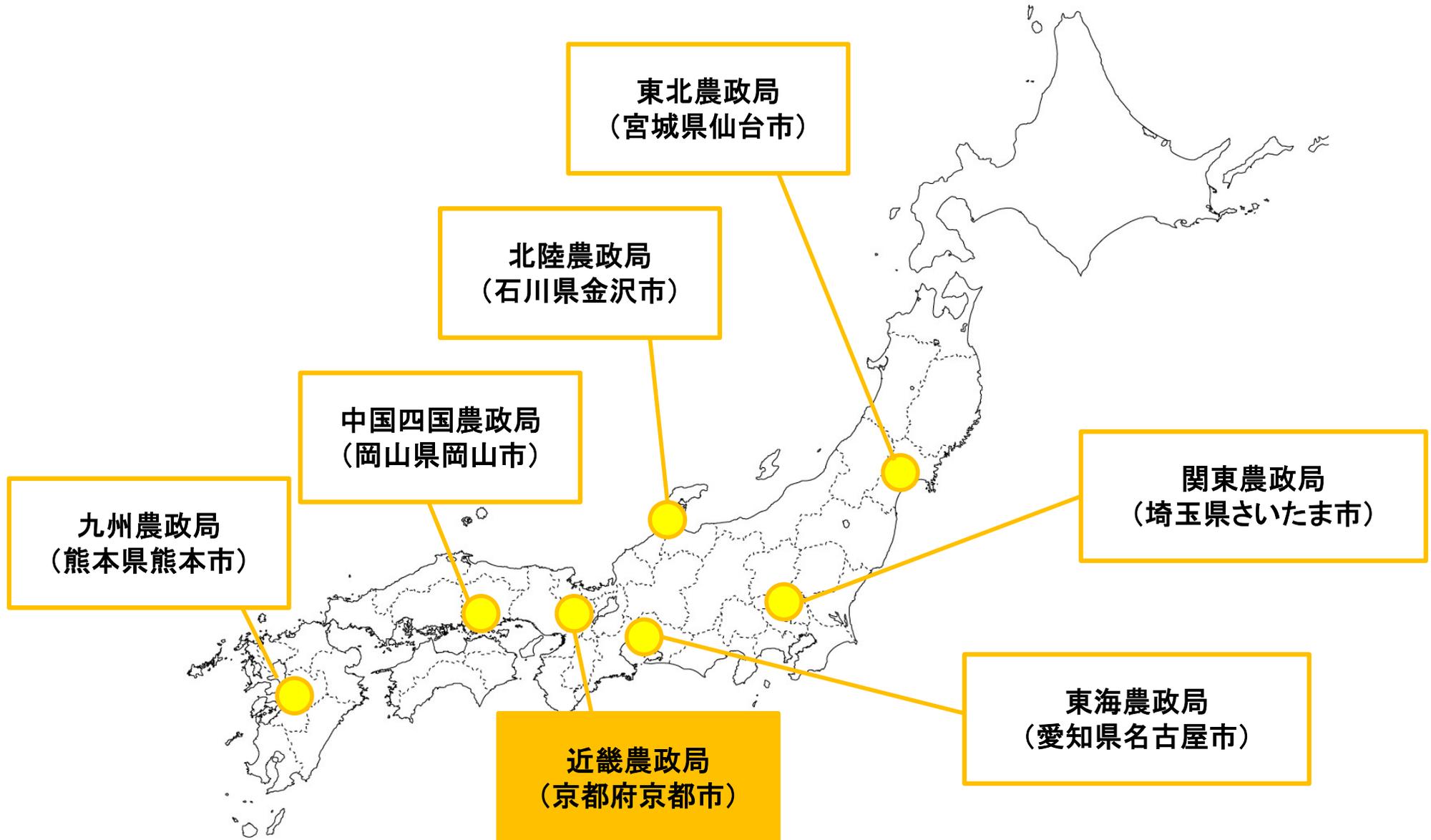
その後は、調査管理事務所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省の課長補佐、地方農政局の管理職や調査管理事務所の幹部といったキャリアを経験。

3 近畿農政局の概要と一般職の業務

- 近畿農政局の組織
- 近畿農政局管内の国営事業の実施状況
- 一般職(農業土木・調査計画系)の業務

地方農政局の組織と近畿農政局の位置

- 地方農政局は、全国に7箇所あり、地域の実情に合わせて施策を実行。
- 近畿局は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県の2府4県を管轄。



近畿農政局 農村振興部関係の組織



近畿農政局

農村振興部の関係部署では、農地の大区画化や湛水防止、ダム・頭首工・水路等の整備といったハード対策と、農業と福祉の連携や都市と農村の交流といった活力あるむらづくりのためのソフト対策を行っています。

近畿農政局(京都府京都市)

令和7年4月



農村振興部

(京都府京都市)

設計課

農村計画課

都市農村交流課

土地改良管理課

農村環境課

事業計画課

用地課

水利整備課

農地整備課

地域整備課

防災課

土地改良技術事務所(京都府京都市)

土地改良調査管理事務所

淀川水系土地改良調査管理事務所 (京都府京都市)

- ・加古川水系広域農業水利施設総合管理所 (兵庫県三木市)
- ・川代ダム管理所 (兵庫県篠山市)
- ・鴨川・大川瀬ダム管理所 (兵庫県三田市)
- ・靴屋ダム管理所 (兵庫県多可郡)
- ・湖北支所 (滋賀県東近江市)

南近畿土地改良調査管理事務所 (奈良県吉野郡)

- ・大迫ダム管理所 (奈良県吉野郡)
- ・津風呂ダム管理所 (奈良県吉野郡)

国営事業所

東条川二期農業水利事業所 (兵庫県加東市)

東近江農地整備事業所 (滋賀県東近江市)

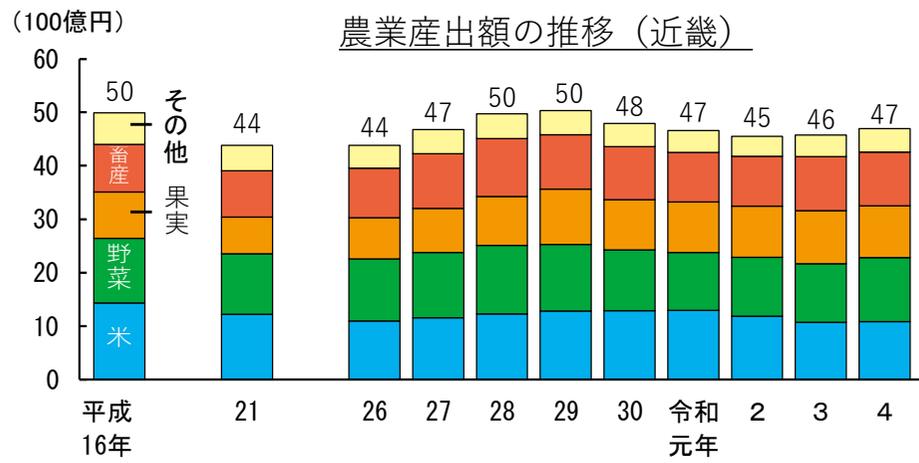
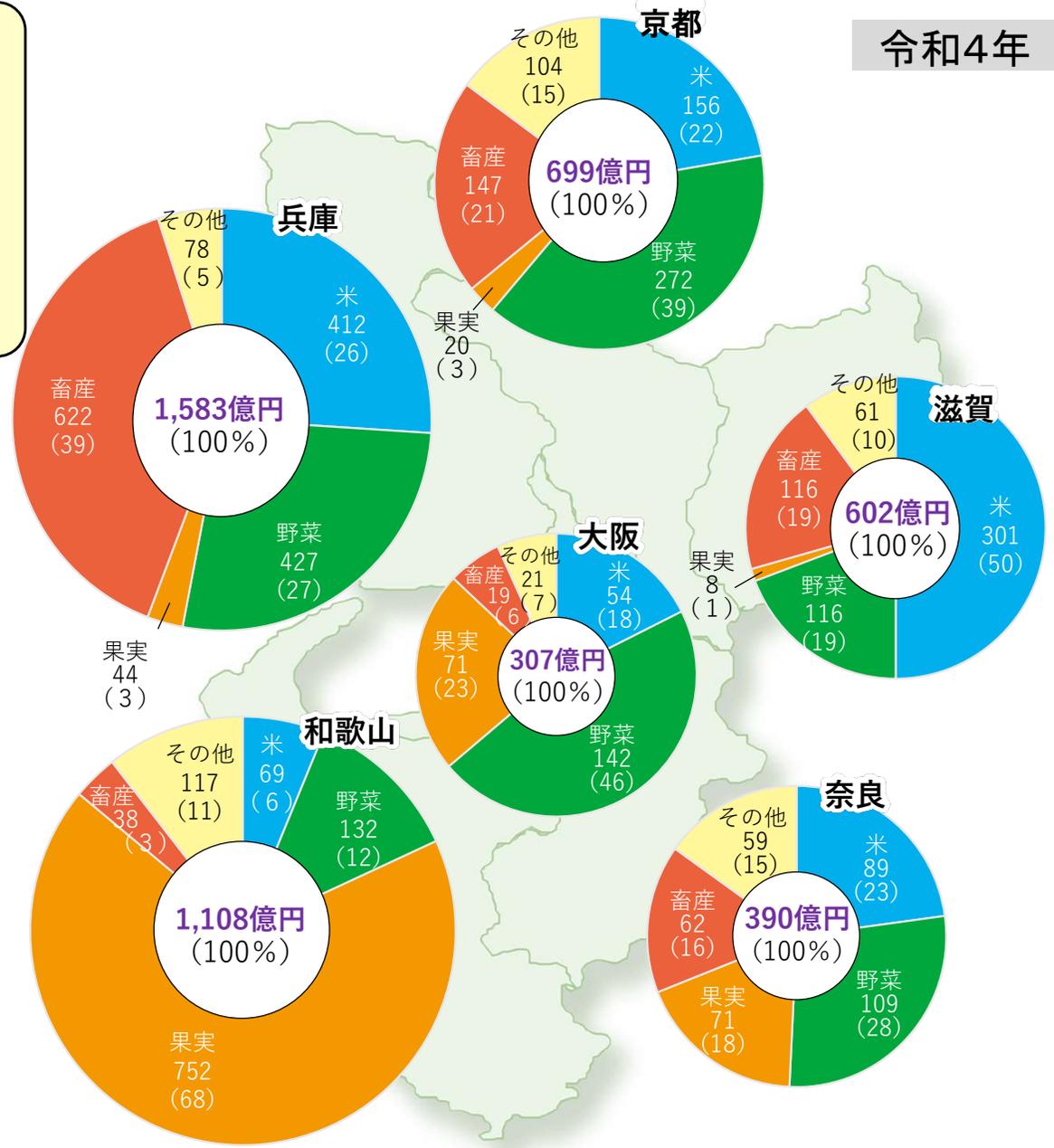
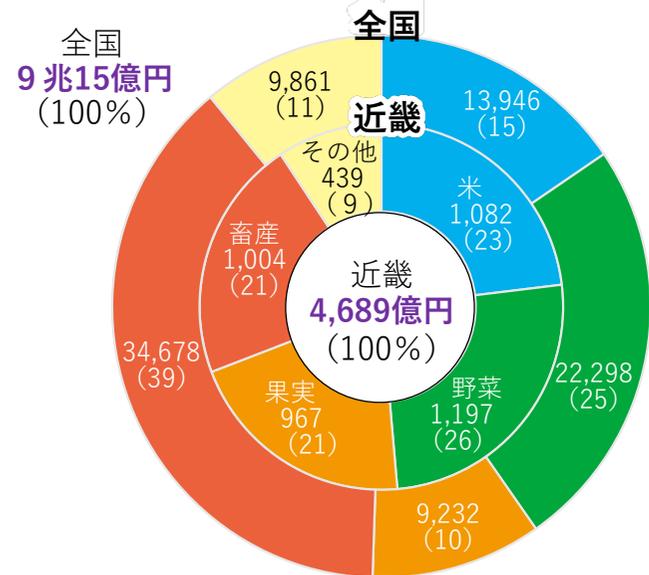
亀岡中部農地整備事業所 (京都府亀岡市)

和歌山平野農地防災事業所 (和歌山県紀の川市)

(参考) 近畿農政局管内の農業の概況

令和4年

- ・近畿の農業は、農地面積、農業産出額で全国の約5%、農家数では約10%のシェア。地域の特色を活かし、各府県で多様な農業を展開。
- ・近畿の農業産出額は4,689億円で、兵庫県が1,583億円で最も多く、次いで和歌山県が1,108億円。
- ・農業構造は小規模で兼業農家が多い一方、滋賀県、兵庫県では水田地帯を中心に集落営農を展開。
- ・水田農業では、滋賀県で麦・大豆作のブロックローテーションによる集団転作、兵庫県では酒米の生産を展開。
- ・野菜では、京野菜、大和野菜などの伝統野菜の生産が盛ん。
- ・畜産では、素牛となる但馬牛、ブランド牛である神戸ビーフ、近江牛を生産。
- ・果樹は、和歌山県、奈良県での生産が盛ん。和歌山県は、みかん、うめ、かき等の産出額が全国1位。奈良県は、かきの産出額が全国2位。



資料：令和4年年生産農業所得統計
 注：1 全国値については農業総産出額である。
 2 その他は合計からその他以外を差し引き算出した値である。

近畿農政局管内の国営事業（務）所

令和7年4月現在

亀岡中部農地整備事業所



農地を大区画化する工事を行い、担い手に農地を集積することにより生産性の向上等を図っています。

東条川二期農業水利事業所



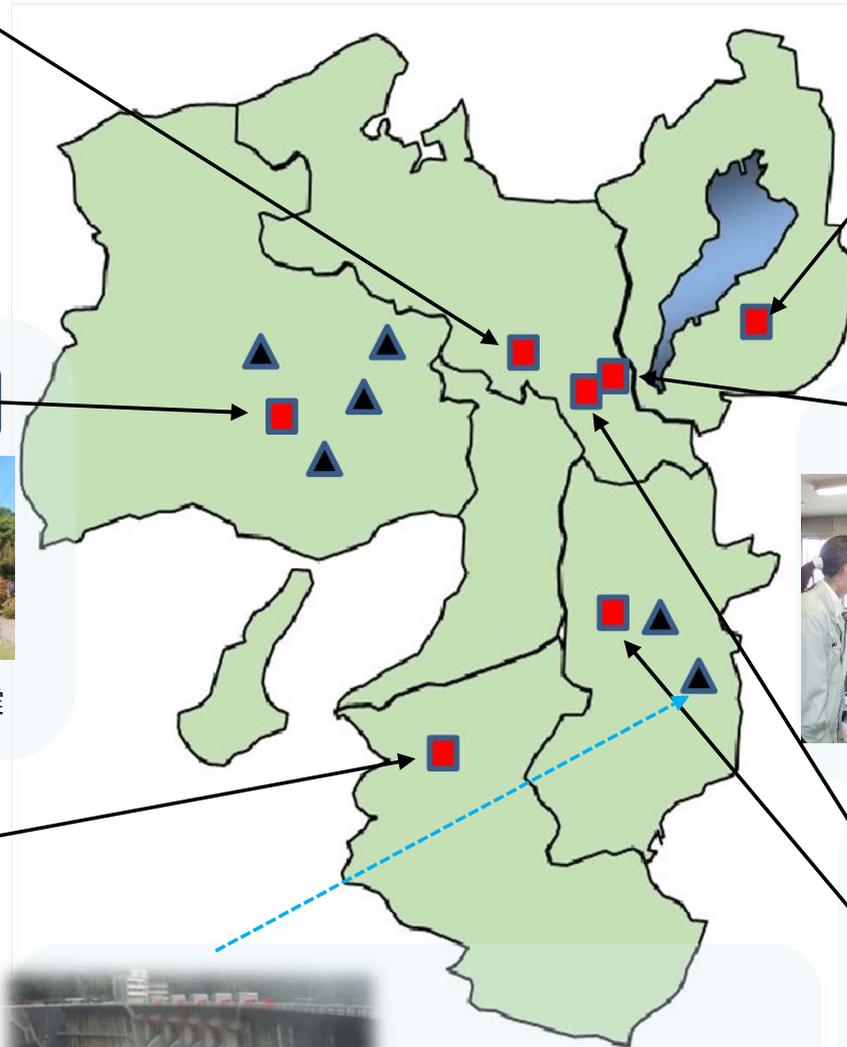
老朽化が進行している施設の改修等と、大規模地震に対応できる耐震工事を行っています。

和歌山平野農地防災事業所



農地の湛水防止のため、排水機、水路等の改修や整備を行い、機能回復を図っています。

<■は国営事業（務）所、▲はダム管理所>



東近江農地整備事業所



スマート農機等の導入に対応した区画整理及び農業水利施設の整備を行っています。

土地改良技術事務所



国営事業所などへの技術支援等を行っています。

淀川水系土地改良調査管理事務所

南近畿土地改良調査管理事務所



国営土地改良事業で造成した施設の劣化状況調査や次の国営事業に向けた計画の他、施設の管理、保全対策等を行っています。

国営土地改良事業で建設された6つのダムでは、国が水位調整や取水操作等を行っています。（左の写真は大迫ダム（奈良県川上村））

農業土木系の業務

技術系職員として、大学や高校等で学んだ知識を活かし、幅広い農村振興の業務に携わります。

【国営事業所勤務】 国営事業の調査計画や業務・工事の発注、監督業務などに携わります。

【農政局勤務】 国営事業の予算や事業の管理、都道府県営事業の補助金交付などの業務を行います。

農政局の出先機関（国営事業所・調査管理事務所等）

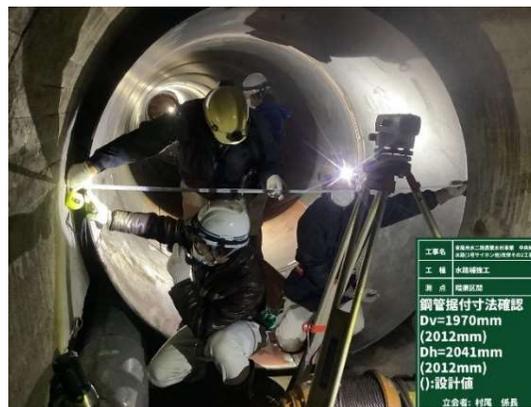
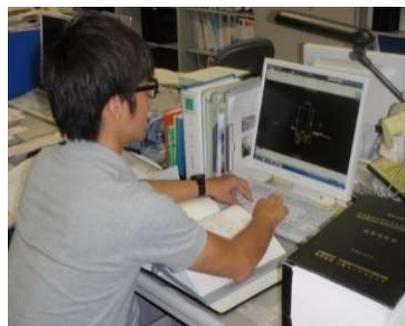
事業計画の策定（主に調査管理事務所）では、施設の機能診断や県・市町村等との調整、農家への説明などを行います



担当する工事では、設計通りに施工されているか等の確認を行います

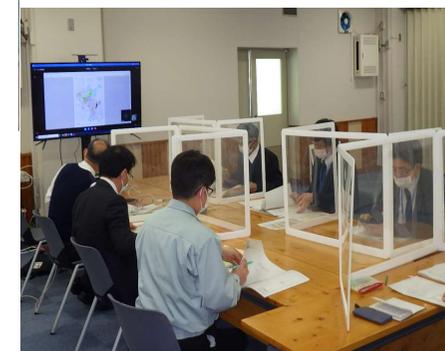


国営事業所では、工事などの発注業務（設計・積算等）や地元住民等への説明などを行います



農政局（本局）

農林水産本省や府県との窓口となるとともに、国営事業の進捗管理や府県との補助事業調整等を行います。



事業所とのWEB会議状況

近畿の農業を守る国営事業～(1)国営かんがい排水①～

国営かんがい排水事業とは、ダム・頭首工・用水機場・用排水路の新設・改修など、農業生産基盤となる農業水利施設の整備し、農業用水の安定供給・水利用の合理化・農地排水の改良を図る事業です。

とうじょうがわにき

東条川二期地区（兵庫県）

本地区は令和3年度に事業着手し、令和14年度まで実施予定です。【東条川二期農業水利事業所】

用水路は老朽化が著しく、漏水が発生するとともに、築造年度の古いダムやため池等の一部は、大規模地震により損壊する可能性があります。そのため、幹線水路等の改修と併せて、ダムやため池の耐震対策を一体的に実施しています。

水路橋の耐震対策

橋脚の補強、上部水路橋の落橋防止施設を設置する耐震対策工事を実施



橋脚補強・落橋防止対策 完了イメージ



ダムやため池の耐震対策

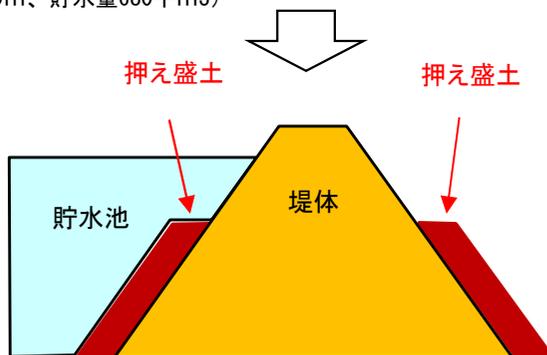
ダムやため池の堤体への押さえ盛土の施工により耐震対策を実施



安政池（中心コア型フィルダム）
（堤高29m、貯水量680千m³）



権現池（ため池）



耐震対策のイメージ

用水路の老朽化対策

開水路のひび割れ補修の実施状況



開水路の表面被覆の実施状況



近畿の農業を守る国営事業～(1)国営かんがい排水②～

とうばんようすいき 東播用水二期地区（兵庫県）

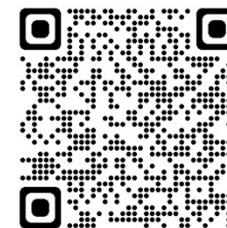
※令和4年3月完了

老朽化した導水路やダム満水面保護施設の改修を行うとともに、地域の水利用の変化に伴い、複数のダム掛りの用水配分を再編するため、揚水機場や調整池の新設を行いました。

また、再生可能エネルギーを活用した施設の維持管理のため、2つダムに小水力発電施設を設置しました。

※本地区は令和4年3月に事業完了。水利施設の更新等により、安定的に地域に水のめぐみをもたらしています。

水のめぐみ～東播用水～
【東播用水二期地区_事業説明編】



未来へつなぐ淡山疏水
【東播用水二期地区_疏水の歴史編】



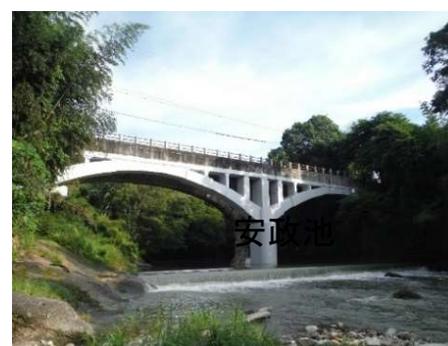
東播用水がもたらす3つの水のめぐみ
【東播用水二期地区_東播磨の農産物編】



北神戸調整池の新設
(PC円筒式タンク 内径32m、有効水深11m)



シールド工法による管水路の新設
(内径1.5m、距離2.5km)



御坂サイフォン（水路橋）の耐震化
(※世界かんがい施設遺産)



呑吐ダム小水力発電施設
(プロペラ水車、最大発電量275KW)



大川瀬導水路の補強対策
(内径2m、パルテム工法)



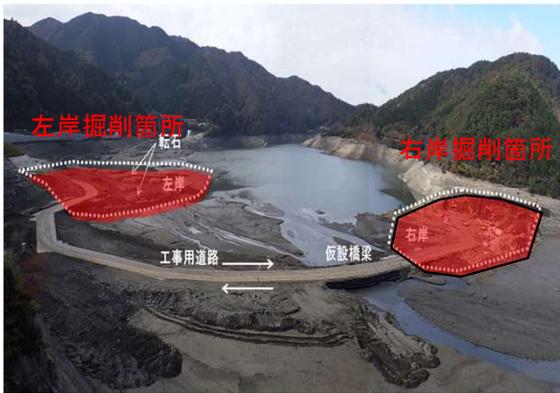
中央幹線水路の補強対策
(内径2m、鋼管巻き込み工法)

近畿の農業を守る国営事業～(1)国営かんがい排水③～

ことうへいや 湖東平野地区（滋賀県）

※令和7年3月完了

ダム貯水池の掘削による貯水容量の増加、調整池の新設、老朽化した幹線水路の改修や水管理システムの整備などを実施しました。【湖東平野農業水利事業所】



永源寺ダム貯水池内掘削工事の状況 *R3完了



幹線水路（管水路）改修（新管に更新）



愛知1調整池（造成状況）*R5完成



幹線水路（開水路）補修（壁面の表面被覆）

こほく 湖北地区（滋賀県）

老朽化等による漏水事故など不測の事態に対応して、管水路や頭首工設備の更新を現在実施中です。

【湖東平野農業水利事業所】



管水路の漏水状況

ひのがわ 日野川地区（滋賀県）

※令和5年3月完了

施設の長寿命化と維持管理費軽減のため、琵琶湖からの逆水利用の揚水機など機械・電気施設の更新を実施しました。

【淀川水系調査管理事務所】



第1段揚水機（ポンプ）の更新

ごじょうよしの 五条吉野地区（奈良県）

※令和6年3月完了

老朽化等による突発事故など不測の事態に対応して、ダム水管理施設や揚水機場の更新を実施しました。

【南近畿土地改良調査管理事務所】



揚水機（ポンプ）の分解・整備

近畿の農業を守る国営事業～(2)国営総合農地防災～

国営総合農地防災事業とは、地震による農業水利施設の被災リスクを軽減するための耐震化対策や、気候変動や流域開発に伴う農地の湛水被害を軽減するため、排水路や排水機場の整備を行う事業です。

わかやまへいや 和歌山平野地区（和歌山県）

紀の川流域の湛水被害軽減のため、排水機場や洪水調整池の施設のほか、流下能力が不足している排水路の拡幅やバイパス水路の整備などを現在実施中です。【和歌山平野農地防災事業所】

排水機場の整備



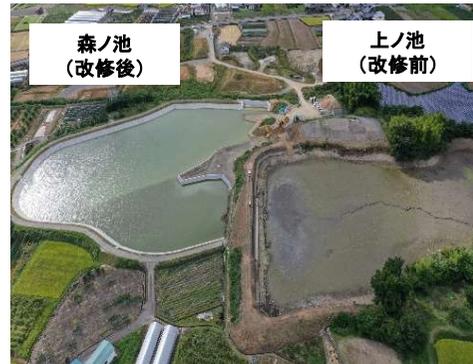
改修後の米田排水機場の外観



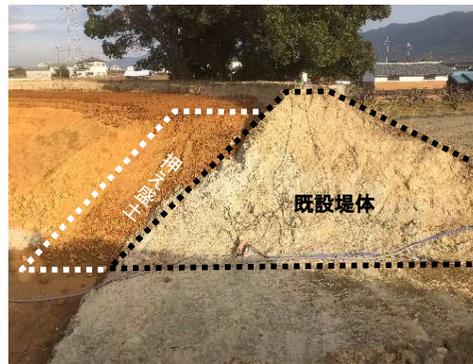
米田排水機場内のポンプ
(改修前：3.7m³/s→改修後：4.5m³/s)

洪水調整池の整備

(既存ため池の改修)



森ノ池、上ノ池
(洪水調整能力：0.5m³/s)



森ノ池堤体改修断面

放水路の整備



千旦放水路
(流下能力：11.7m³/s)

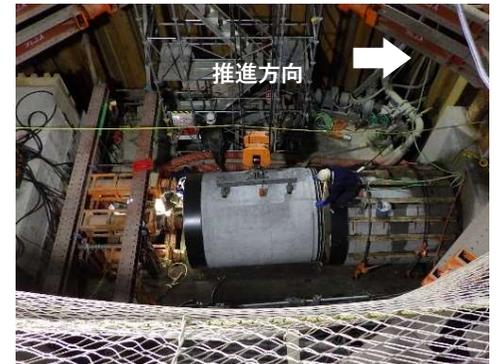


ケーソン圧入による到達立坑の施工
(内径：7m、深さ：19m)

排水バイパスの新設



七瀬排水路分流工
(流下能力：4.5m³/s)



波分山崎排水路の推進工
(推進管：内径1,650mm)

近畿の農業を守る国営事業～(3)国営農地再編整備～

国営農地再編整備事業とは、広域的な農地の大区画化や排水改良を行い、担い手への農地集積を加速化するとともに、耕作放棄地の解消・未然防止を図りつつ、産地収益力等の向上のための生産コスト低減や高収益作物への転換等の地域の取組を促進する事業です。

かめおかちゅうぶ

亀岡中部地区（京都府）

京都府亀岡市の約400ヘクタールの農地を対象に、1ヘクタールなど大区画化を行う区画整理工事と併せて、ほ場と集落をつなぐ幹線道路や用水路・排水路の整備などを現在実施中です。

【亀岡中部農地整備事業所】

ほ場の大区画化



大区画化整備田での営農



整備田での田植え作業状況



整備田を活用した玉ねぎの機械化栽培

ひがしおうみ

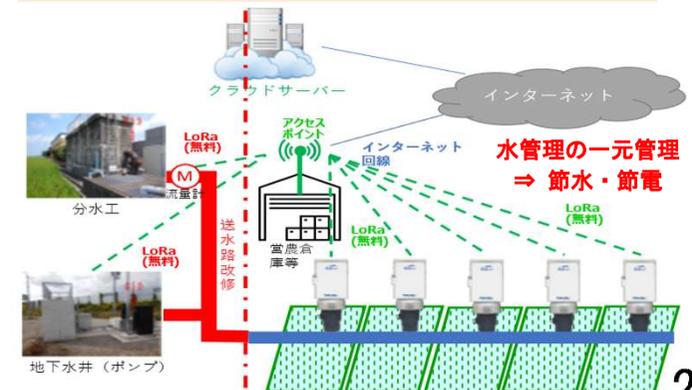
東近江地区（滋賀県）

滋賀県東近江市の約680ヘクタールの農地を対象に、スマート農機の導入に併せた水路のパイプライン化や区画整理を行います。【東近江農地整備事業所】

老朽水路のパイプライン化



次世代型のICT水管理システム



近畿の農業を守る国営事業～(4)直轄管理～

- ・国営事業で建設したダム・頭首工等については、通常は土地改良区・地方公共団体が管理しますが、高度な公共性を有し、管理に特別の技術的配慮が必要な場合は、国自らが管理します。
- ・全国で6地区のみの直轄管理地区のうち、近畿局管内では2地区を実施しています。

とつかわ きのかわ 十津川・紀の川地区（奈良・和歌山県）

奈良県・和歌山の両県に農業用水等を供給するための大迫ダム、津風呂ダム、下淵頭首工を直轄管理しています。【南近畿調査管理事務所】



大迫ダム
(S48完成、アーチダム)



津風呂ダム
(S36完成、重力式コンクリートダム)



大迫ダムでの洪水管理（放流）



下淵頭首工の操作・監視室

かこがわすいけい 加古川水系地区（兵庫県）

神戸市や東播磨地域等の農業用水及び水道用水を供給するためのダム（呑吐ダム・大川瀬ダム・鴨川ダム・川代ダム・糞屋ダム）や、頭首工、揚水機場などの基幹的施設を直轄管理しています。

【加古川水系広域農業水利施設総合管理所】



呑吐ダム
(H4完成、重力式コンクリートダム)



総合管理所の操作・監視室



大川瀬ダム
(H4完成、重力式コンクリートダム)



川代ダム
(H3完成、ゲート式ダム)



(1) 農業生産性の向上に向けた土地改良事業の計画づくり

地域の農業や環境の状況を調査し、農業者や市町村など地域の皆さんと一緒になって、農業生産基盤整備や農村環境を保全するための計画を作ります。また、その計画により事業を実施した場合の経済効果の算定などを行います。

《 事業の流れ 》

調査・計画
(3~6年)

着工

事業の実施
(10~15年)

完了

営農の展開

《 農村振興技術系(調査計画)職員の仕事 》

- 地域の農業や環境などの状況の調査
(作付状況調査、用水量調査、土壌調査、環境調査等)
 - 事業実施区域の土地の面積や権利関係の調査
 - 地域農業者、行政機関等との農業生産の向上や環境を保全するための計画づくり
 - 事業を実施した場合の経済効果の算定
-
- 営農展開のための取り組み支援
-
- 事業実施後の評価(事後評価)



水田用水量調査



環境調査



農業者等との計画づくり



営農転換の支援

(2) 農村地域における環境の保全

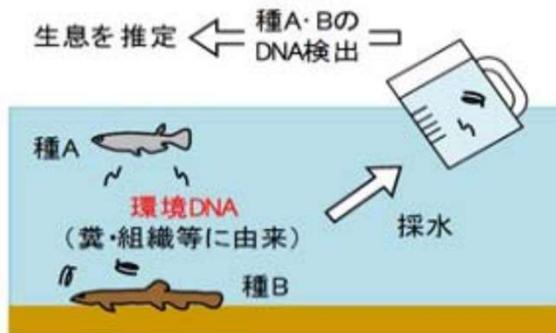


農村環境保全
調査web

■ 農村地域における環境保全に関する調査

土地改良事業は、環境との調和に配慮することを原則としています。

このため、調査計画時点の環境調査のほか、事業による環境への影響の評価や適切な環境保全対策の実施に向け、生物生息状況の効率的な調査手法の検討、生息環境を整備するための手引きの作成、農業用水路等の通水阻害を引き起こす侵略的外来生物の対応策の検討など、**農村地域の環境保全のための各種調査**を行います。



・ 環境DNAによる魚類等の生息状況推定手法の検討

○ 効率的な調査手法の検討



・ 地域住民との生きもの調査

○ 生物生息状況調査



・ 魚巣ブロック設置による魚類等の隠れ場・退避場所の確保



・ 水田魚道設置による水域ネットワークの保全対策の検討

○ 環境保全のための手引き等の作成



ナガエツルノゲイトウ
駆除マニュアル

農林水産省
環境省
農業・食品産業技術総合研究機構

・ 外来種対策のパンフレットや
駆除マニュアルの作成

○ 侵略的な外来生物への対応

(3) 都市と農村の土地利用調整



農業振興地域制度web

■ 土地利用の調整（農業的土地利用と都市的土地利用の区域分け）

農地は、食料の供給をはじめ国土の保全等といった重要な役割を果たす、限りある資源であり、その確保と有効利用に確実に取り組んでいく必要があります。

一方、国土が狭小な我が国においては、宅地や工場等の農業以外の土地利用の需要（都市的土地利用）にも適切に対応する必要があり、農業的土地利用と都市的土地利用の区域分けが重要です。

このため、農地を守るという基本的な考え方に立って、他省庁（国土交通省等）や、都道府県・市町村の農地担当部局と都市計画担当部局との調整・指導を行います。

■ 優良農地の確保

農業的土地利用に区域分けされた土地（農用地区域）では、農業用排水路の整備や区画の拡大をはじめとした農業投資（土地改良事業等）を行われ、事業が行われた農業生産性の高い農地（優良農地）は、その確保と有効利用が重要です。

一度、宅地や工場に転用（農地転用）されると、農業の生産基盤は失われ、基本的に農地に戻ることはありません。

農村振興局では、農振法（農業振興地域の整備に関する法律）等により、優良農地の確保に努めています。

土地利用の区域分けのイメージ



農業を振興する地域の中に、農業投資を行う農用地区域を設定し、農地転用を禁止。



都市計画の対象地域の中に、市街化区域を設定し、都市的開発を促進。



(4) 地域コミュニティ機能の維持・強化

■ 地域で支え合うむらづくり

農村においては、人口減少・高齢化が進行している中、地域資源の保全や生活など集落維持に必要な機能が弱体化しており、農業生産活動のみならず地域の共同活動の継続についても懸念されています。

こうした地域において、生活の利便性の向上、集落機能を維持する取組への支援を行っています。

● 地域コミュニティ機能の維持・強化 農村型地域運営組織（農村RMO）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織の形成に取り組み地域を支援します。



農村型地域運営組織(農村RMO)の推進
～地域で支え合うむらづくり～



(5) 鳥獣害対策

■ 鳥獣害対策

営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加など農村地域の存亡にもつながる鳥獣被害。

これを無くし、農村地域の活性化を図るため、鳥獣防護柵の設置や捕獲の促進等の鳥獣被害防止対策を進めるとともに、捕獲した鳥獣の有効活用を図るため、処理加工施設の整備や民間企業と連携したジビエフェアなどの普及プロモーション等、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在へと変えるジビエ利用拡大に向けた支援を行います。

鳥獣被害の防止とジビエ利用の拡大



【ジビエポータルサイト】



ジビエト



ジビエの魅力、イベント等の情報はこちらから



鳥獣被害対策コーナー



ジビエ利用拡大コーナー

(6) 地域資源を活用した農山漁村の活性化

■ 地域資源を活用した農山漁村の活性化

農村には、古民家、郷土料理、伝統的農業生産技術、農村景観や農村文化など、農村の活性化に繋がるような地域の資源が数多くあります。

こうした地域資源を活用した農泊や農業遺産の認定による伝統的な農林水産業の支援を行います。

● 農泊

農山漁村地域ならではの伝統的な生活体験と地域の人々との交流を楽しみ、農家や古民家等での宿泊によってその土地の魅力を味わってもらう「農泊」の取組を進め、都市と農山漁村との交流や増大するインバウンド需要の呼び込みを促進することで農山漁村の所得向上と地域の活性化を図ります。



農泊
ポータルサイト



● 農業遺産

伝統的農業生産技術など独自性のある農林水産業と、棚田などの農村景観、生物多様性や農村文化などが相互に関連して一体となった、将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムを認定する「農業遺産制度」の取組により伝統的な農林水産業システムの継承を支援します。



農業遺産
Web



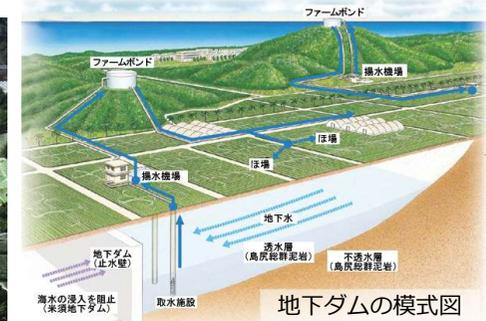
※ 世界農業遺産：17地域（近畿管内4地域）、日本農業遺産：28地域（近畿管内9地域）
（R8.2現在）

(7) 農村振興の現場における地球科学分野の取組

「物理」、「化学」の試験区分で受験された皆さまには、
下記の「地球科学分野の取組」にも関わっていただきます。

● 農業生産基盤の整備と 農業水利施設の持続的な保安全管理

農業用水の水源を確保するダム・地下ダム等の建設・改修にあたって、地盤や地下水、環境に関する技術的課題の解決を主導します。また、ダムなど農業水利施設に関する地盤環境情報の収集と分析、活用を主導し、ライフサイクルコスト低減など施設の適切な保全・管理を支援します。



● 農村地域の防災・減災対策

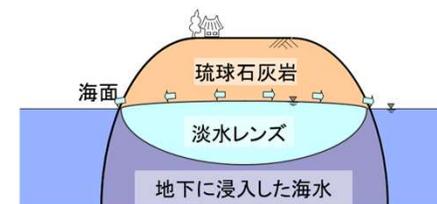
ダム等の耐震性能照査に参画し、施設の耐震化対策を支援します。農村を地すべり災害から守るため、地すべり等防止法に基づく防止区域の指定や対策工事等の管理を支援します。



● 地域資源を活用した農村振興

独特の自然条件など地域固有の資源を活用した農村振興の取組を企画・立案・実行します。地下水や地すべりに係る調査を通じて地域資源の活用を提案します。

(地下断面模式図)



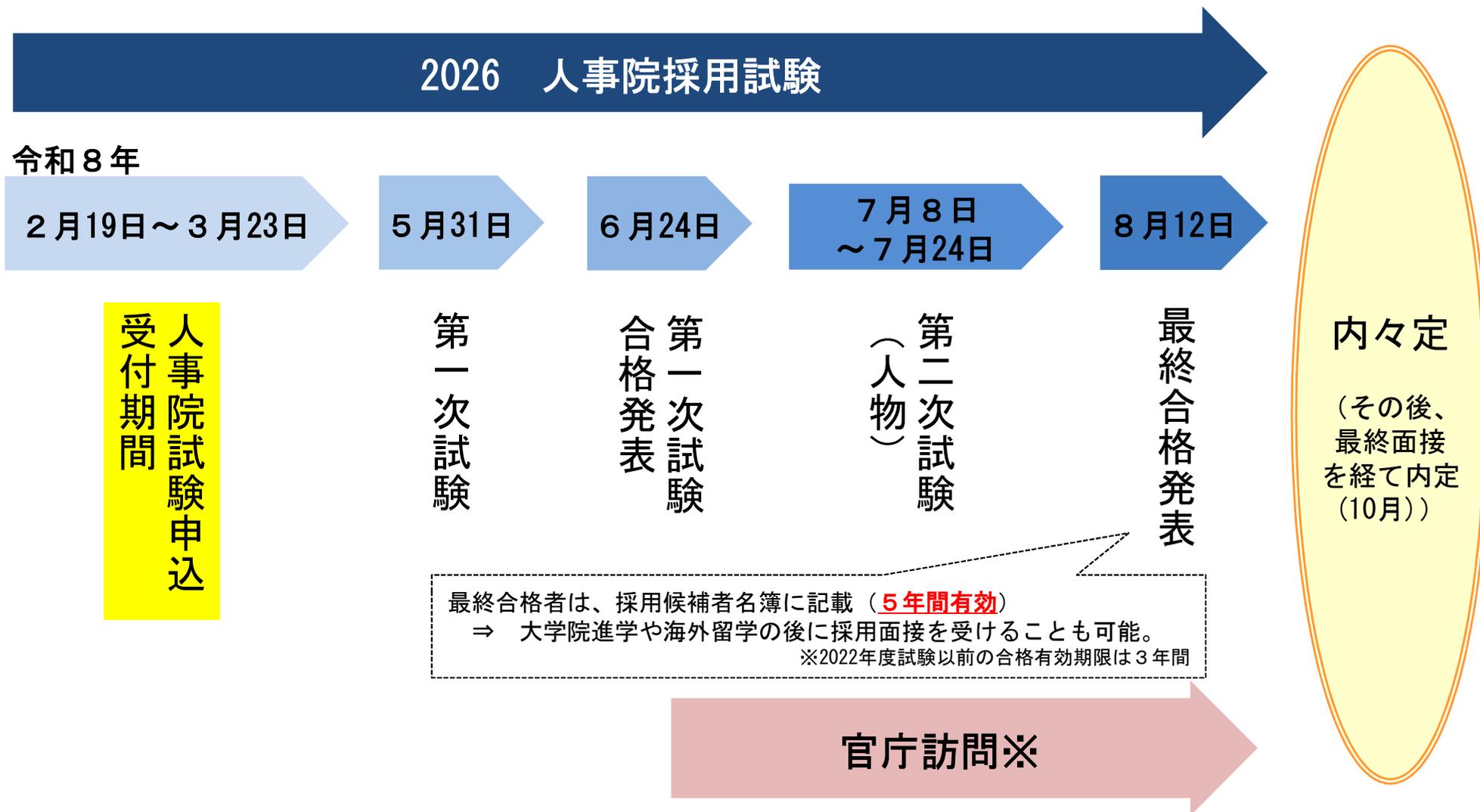
不透水基盤が分布しない島嶼地域の
水源開発 (淡水レンズ開発)



4 採用プロセス

- 2025年度試験（一般職）採用スケジュール

採用プロセス(一般職) 大卒程度



※ 官庁訪問とは、地方農政局における採用面接です。
日程等は、各農政局のホームページで公表されます。

5 研修・福利厚生とワークライフバランス

- 充実した技術研修制度による「スキルアップ」
- 初任給、勤務時間、休暇制度、住宅は・・・？
- 出産・育児休業は・・・？
- 若手職員からのメッセージ

充実した技術研修制度による「スキルアップ」

1人1人の受講履歴をとりまとめた「研修カルテ」を作成し、計画的に受講するシステム

◆多種多様な研修を用意し、係員、係長、課長等の各段階で、必要な時期に必要な研修を履行。

◆特に、若手技術系職員は、近畿農政局農業農村整備技術キャリアアップマップに基づき、一定の年齢までの必須研修をカリキュラム化して重点的に育成。

	1～2年目	2年目以降
地方研修	基礎養成研修	ストックマネジメント技術
	初任技術(基礎)	鋼橋・ゲート ポンプ・電気 施設管理
	初任技術(実践)	パイプライン用水計画
	基礎技術研修	施工管理
	初任技術(農村派遣)	水利システム 河川協議
		土木地質 等々
講習会	CAD技術	電子納品
	電気概論	無線従事者養成 自家用電気工作物 保安教育
	工事監督基礎	災害応急用ポンプ
		積算システム
		等々

入省1～2年目に受ける技術研修

1年目は基礎養成研修や初任技術研修にて、基礎知識を習得して頂きます。

- ・基礎養成研修(年2回): 農村振興に関する基礎知識や基礎学力の研修
- ・初任技術(基礎): 農業農村事業及び農政一般に関する講義
- ・初任技術(実践): 設計・積算業務に関する講義・演習
- ・基礎技術研修: 農村工学に関する基礎学力、基礎技術、基礎知識に関する研修
- ・初任技術(農村派遣): 農家に滞在する等、農作業等の実習及び農業・農政等に対する意見交換
- ・技術講習会: CAD技術や工事監督基礎など必要に応じて受講可能



福利厚生について

Q. 初任給は？

A. 初任給代表例

一般職（大卒程度）採用者初任給	237,600円
一般職（高卒者）採用者初任給	203,040円

- 手当：基本給に加え、該当者には扶養手当・通勤手当
住居手当・超過勤務手当・地域手当も支給されます。
- 賞与：期末勤勉手当（ボーナス）が年2回支給されます。
- 昇級：年1回

Q. 勤務時間は？

- A. 平日 8:30～17:15（7時間45分）
 昼休み 12:00～13:00
休日 完全週休二日制

- 時差出勤やフレックス勤務の導入
（時差出勤の例 9:30～18:15）



Q. 休暇制度は？

- A. 休暇の取りやすい職場環境作りを進めており、
まとめて取ることも可能です。

- 年次休暇：年間15日（入省初年度）、2年目以降は20日
日数は最大20日まで翌年に繰越可能で、年間最大40日
の休暇の取得が可能になります。
- その他：年次休暇に加え、結婚休暇（5日）、夏季休暇（3日）、
病気休暇などが制度化されています。

Q. 住宅は？

- A. 独身用・世帯用宿舍が設置されています。

- 宿舍等施設
勤務地の住居として、宿舍が用意されています。新規採用者には入居の
希望を確認しています。
- 福利厚生施設
国家公務員共済組合制度により、全国に医療機関や宿泊・保護施設が
設置されており、利用することが出来ます。

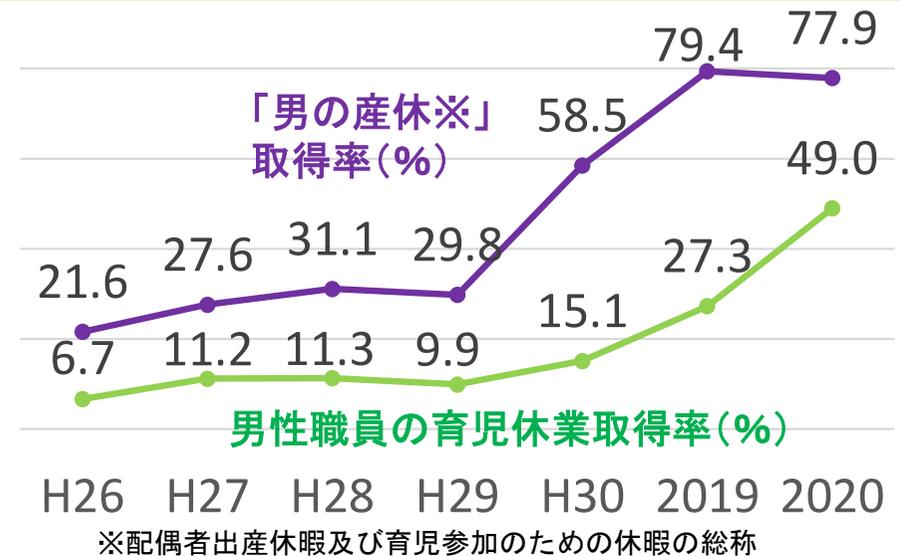


ワークライフバランスに関する取組

主な両立支援制度

産前休暇・産後休暇【女性】	出産の6週間前から出産後8週間までの休暇
配偶者出産休暇【男性】	妻の出産の付添い等のための休暇(2日)
育児参加のための休暇【男性】	妻の産前産後期間中に子を養育するための休暇(5日)
育児休業	一定期間の休業(子が3歳になるまで)
育児短時間勤務	短い勤務時間での勤務(子が未就学まで)
早出遅出勤務	1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可(勤務時間の変更)
子の看護休暇	年5日(子が未就学まで)

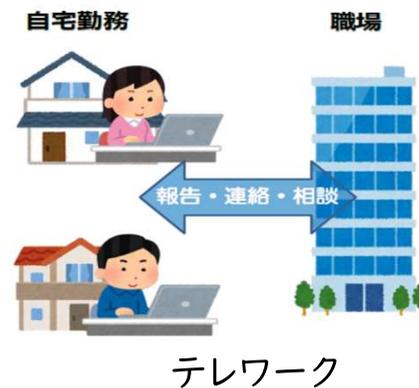
<農林水産省>
女性の育児休業取得率は100%
男性の育児休業取得率も増加



働き方改革

農林水産省では、全ての職員が能力を発揮しながら、生き生きとやりがいを持って働くことができる職場環境作りを推進しています。

- ✓ 業務の効率化・デジタル化の推進
- ✓ テレワークの推進
- ✓ 勤務時間管理の徹底
- ✓ 休暇の取得推進



農政局でも、リモートアクセスシステムが整備され、必要に応じてテレワークを実施。

若手職員（農業土木系）からのメッセージ



H. S

R3 採用 南近畿土地改良調査管理事務所管理課

皆さんへのメッセージ

公務員試験は、試験勉強が大変だと思いますが、科目ごとの出題数や配点を確認して勉強をすると、効率的に進められると思います。

また、私自身、面接はとても緊張しましたが、回数を重ねるごとに良くなっていくような気がしましたので、色々なところで挑戦されるのも良いかと思います。

就職は人生の大きなイベントの1つですので、色々悩まれると思いますが、その中で近畿農政局を選んでいただければ幸いです。

皆様と働ける日を楽しみにしております。

～基幹的農業水利施設の管理に携わる～

Q1 今担当している業務は？

南近畿土地改良調査管理事務所では、ダムや頭首工などの国営施設の長寿命化・機能保全対策の検討、地域の農業基盤の整備のための調査・計画立案、及び国営施設の直轄管理を行っています。

管理課では、直轄管理事業として、大迫ダム、津風呂ダム、下淵頭首工の利水管理・洪水管理・施設管理を行っており、私も管理課の一員として、下淵頭首工の管理に携わっています。下淵頭首工は和歌山県に流れていく吉野川（紀の川）の水を奈良県の大和平野に分水する重要な役割を持つ施設ですので、やりがいを感じています。

私自身、管理の仕事は初めてで、慣れないことも多いですが、頭首工の操作をはじめ、管理ならではの仕事もあり、新鮮な気持ちで業務に取り組むことができます。

～様々なことに挑戦できる職場～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

大学で農業農村工学を専攻し、学んだことを活かせる仕事をしたいと思いました。3回生の時に参加した夏期インターンシップで、仕事の多様さや、実施している事業のスケールの大きさを実感し、公務員の仕事に興味を持ちました。

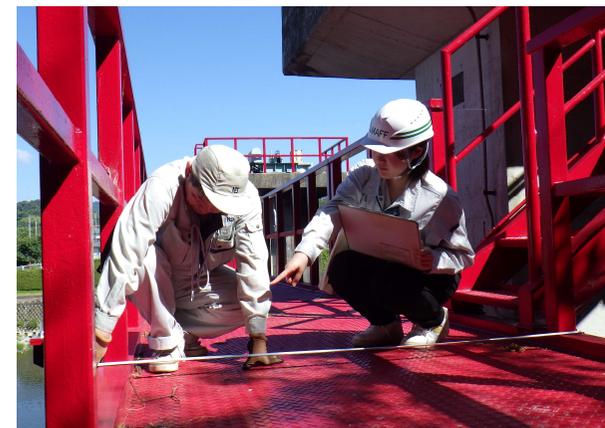
近畿農政局では、近畿の様々な地域で、農業農村整備に携わることができることも魅力に感じました。

～相談しやすい環境～

Q3 職場環境について

職場は明るい雰囲気です。普段から周りの方とコミュニケーションを取りながら仕事をしています。そのため、業務で困ったことがあっても、気軽に相談することができます。

初めて担当する業務で不安を感じることもありますが、経験豊富な上司からサポートをもらいながら業務を進めることができ、日々少しずつですが、成長を実感しています。



若手職員（農業土木系）からのメッセージ



M. N

R4 採用 東条川二期農業水利事業所工事第二課

皆さんへのメッセージ

近年はリモートワーク等、様々な勤務形態によって、他人と関わらない働き方も増えていますが、農業土木や公務員の仕事は外部の人との関わりが非常に重要な職種となっています。

インターンシップや説明会では、学生との接し方だけでなく、職員同士の身内の会話や他組織の人と会議している際の雰囲気ギャップに注目し、その雰囲気が自身に合うのか、考えてみると良いと思います。

近畿農政局の雰囲気が皆さまにとって、自分に合いそうだと感じていただけたら幸いです。共に働ける日が来ることを楽しみにしております。

～施設管理者から喜ばれるものを目指して～

Q1 今担当している業務は？

東条川二期農業水利事業所では、老朽化した農業用水路の改修や農業用ダム、ため池の耐震対策を行っており、私の主な担当業務は、工事の設計、発注、監督、関係機関や地元農家との調整になります。

工事を進める上では、農業土木の専門的な知識だけでなく、地域特性や現場条件を十分に把握し、土地改良区や地元農家等から理解を得られることがとても重要です。

何度も現場に足を運ぶことになるため、体力的に大変なこともあります。工事が完了して、施設管理者から「きれいになった」「使いやすくなった」と喜ばれた時には、非常にやりがいのある仕事だと感じます。

～誰のため、何のための仕事か～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

私は大学で学んだ農業土木の分野の専門知識が活かせる職業を考えていました。その中でも、農政局の仕事は受益者と直接やり取りがあるため、「誰のための仕事か」、「何のための仕事か」がはっきりしていること、転勤などを通じて、様々な土地柄を知ることができるのが魅力だと感じ、志望しました。

～事業所は一つのチーム～

Q3 職場環境について

若手職員が多く、若手向けの研修も充実しています。技術力の研鑽だけでなく、日頃から年の近い先輩や後輩、同期とコミュニケーションや情報共有が行われているので、わからないことを互いに相談しやすい環境です。

また、事業所では、10～40人程度の職員が、一つの事務所で仕事をするようになります。事業所の職員全員が互いに協力し合うことで、働きやすい職場環境を築いています。



若手職員（農業土木系）からのメッセージ



T. Y

R5 採用 亀岡中部農地整備事業所 調査設計課

皆さんへのメッセージ

公務員試験の筆記試験では、長い時間をかけ過去問を中心に勉強をしていました。また、面接試験も正直不安に感じていましたが志望動機や自身の強みを面接官に伝えるために高校の先生方と毎日練習を繰り返しました。

試験対策は長丁場なので、大変に感じることもありましたが、メリハリをつけて取り組んでいました。

いつか皆さんと働ける日を楽しみにしております。

～農業の礎を築く仕事～

Q1 今担当している業務は？

私は、現在、近畿農政局の出先機関である亀岡中部農地整備事業所の調査設計課に所属しています。

亀岡中部農地整備事業所では農地の区画整理事業を行っており、狭小で不整形である農地の大区画化やそれに伴う農道・用排水路の整備等を行っています。

その中で私は、主に事業に係る予算要求や工事監督の補助、事業の広報に関する業務を行っております。農家さんにとって命でもある農地を整備するという事は、期待も大きく、やりがいの大きい仕事ではないかと日々感じます。

～日本の食を農業土木から支える～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

近畿農政局を志望したのは、高校で農業土木について学ぶ中で、農業農村を災害から守り日本の食を農業土木の分野から支えたいと思ったためです。

地元の市役所や県庁への就職も考えましたが、国営の予算規模で大規模な事業や府県を跨ぐ広大なフィールドで仕事を出来ることに魅力を感じ志望いたしました。

～柔軟な働き方が出来る職場～

Q3 職場環境について

職場の方々は、とても優しく温かな方ばかりで、上司や年の近い先輩方も多くとても相談しやすいです。また、研修等も充実しているため全国の同期と親交を深めることが出来ました。

福利厚生においても、フレックスタイム制やテレワークも普及しており柔軟な働き方が出来るのではないかと思います。また、休暇も取得しやすく、1時間単位で取得することも出来るのでワークライフバランスも両立出来る職場環境だと思います。



若手職員（農業土木系）からのメッセージ



N. S

R5 採用
淀川水系土地改良調査管理事務所湖北支所保全整備係

皆さんへのメッセージ

就職活動期間というのは精神的にしんどいと思うことが多いかもしれません。一方で、自己分析は自分を見つめ直すきっかけになりますし、就活イベントや説明会に積極的に参加することで自分が本当にやりたいことが見つかるかもしれません。要は、就職活動というしんどい経験も捉え方次第ではポジティブに考えられるのではないかと思います。

気負いすぎず、色々な説明会に参加して、自分の譲れない軸を見極めてみてください。

そうして選ばれた中に近畿農政局が入っていれば大変嬉しいです。

いつか、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

～農業用水の安定供給に直結する工事～

Q1 今担当している業務は？

私が所属する湖北支所では、昭和40年代に造成された農業水利基幹施設（水路、頭首工等）のひび割れや漏水等に対する改修工事が行われています。

現在、私は、工事を発注するために必要な積算業務の他、非灌漑期（10月以降）から本格的に動き出す工事の工程確認や施工内容の協議・調整を行っています。工事を円滑に動かしていくための関係機関や請負業者との調整は煩雑なことも多いですが、農業用水の安定供給に直結する工事に携わっているという実感は、日々の業務に取り組む原動力となっています。

～農業の基盤を支える仕事への憧れ～

Q2 近畿農政局を志望した理由は？

大学で農業土木分野を学んだことをきっかけに農業土木職の存在を知り、一見、派手な職種ではないですが、私たちが生きていくうえで必要不可欠な食を生み出す農業の基盤を支えるという、縁の下の力持ちのような姿に魅力を感じ、生まれ育った近畿地方の農業を支えたいという思いから近畿農政局を志望しました。

～チームワーク力の高い職場環境～

Q3 職場環境について

各々が報告・連絡・相談を徹底しており、どんなに些細なことでも周囲に相談しやすい環境だと感じています。業務で分からないことがあった時、すぐに手を差し伸べてくださる上司や先輩方に恵まれていると実感することが多いです。

また、有給休暇も1時間単位で取得できますし、テレワークや時差出勤も浸透していますので、柔軟な働き方のできる職場だと思っています。



若手職員からのメッセージ



Y. S (R6採用 農業農村工学)

近畿農政局
農村振興部農村環境課環境保全係

皆さんへのメッセージ

農村には「二次的自然」と呼ばれる人と自然のかかわりによって育まれる豊かな自然環境が形成されています。この環境を守るためには、地域の農業も自然環境もどちらも守らなければなりません。「開発」と「保全」、一見対立する2つを両立させることは難しいですが、やりがいのある仕事だと思います。

試験は筆記・面接ともに場数を踏んでおくことが大切だと思います。筆記は思ったより時間が足りなかったり、面接は思った通りに話すことができなかつたりするので本番を想定した練習が特に大切だと思います。また、各農政局で実施しているリクルートイベントに参加して職場の雰囲気をつかんでおくこともおすすめです。

～環境保全に関する調査と農業遺産～

Q1 今担当している業務は？

環境保全に関する調査業務と農業遺産に関する業務をしています。
環境保全に関する業務では、条件付き特定外来生物であるアメリカザリガニの駆除手法についての調査と、水上太陽光発電設備を設置した農業用ため池の水質調査を行っています。どちらの調査も多くのデータを取りまとめるためエクセルでの作業が多いですが、自分の目で現地を見る機会も多くあり、現場目線で業務ができると思います。
農業遺産に関する業務では、認定地域や新しく認定を目指す地域の支援などを行います。R6年度は近畿農政局管内で新たに2地域が認定され、その認定に向けた支援も業務の1つでした。農村に赴いて、日本の中でもひととき特徴的で長い歴史を持つ営みにじかに触れることができるのはこの仕事の魅力の1つだと思います。

～農村とその環境の保全～

Q2 調査計画系を志望した理由は？

実家が農村で、鳥や魚、カエルなど多くの生きものに触れながら育ってきました。大学では農業農村工学と生態学を学び、その中で農村の生態系とその保全が興味の中心となっていました。そのような中、大学の先生や同じ調査計画系で就職した先輩からの紹介をうけて、調査計画系志望で官庁訪問を受けました。

～フィールドでの業務～

Q3 入省前と入省後で印象が変わった点

デスクワーク中心のイメージでしたが、実際には現地調査で生きものを探して田んぼの畦畔などを歩いて回ったり、胴長を履いてため池や水路に入ったり、外に出での仕事も多くありました。他にも生きもの観察の運営をしたりと外部の人とかかわる場面も多くあります。
現地調査の際、運よく水田魚道を魚が実際に遡上している場面を見られたこともあり、想像以上に生きものに触れる楽しさを味わえる仕事でした。

～休みの取りやすい環境～

Q4 自身のワークライフバランスについて

メリハリをつけて仕事に臨むように意識しています。休みが取りやすい雰囲気なので、連休を利用して帰省をしたりとプライベートの都合を調整しやすいです。

若手職員からのメッセージ



S. J (R5採用 農学)

近畿農政局
農村振興部農村計画課農業振興地域係

皆さんへのメッセージ

農政局は、幅広い農業施策を実施する特徴的な職場です。食料・農業・農村を包括的に支える、他にはない仕事ばかりですので、ご興味のある方は、ぜひ業務説明会等に参加してみてください。

公務員試験については、過去の問題集をよく理解することが重要だと思います。また、面接試験に向けて、大学で学んだことを整理したり、農業に関する文献をいくつか読んでおくことをお勧めします。目標をもって勉強できる貴重な機会だと思いますので、ぜひ頑張ってください。

～農地の確保に寄与する調査・調整～

Q1 今担当している業務は？

私が所属している農村計画課では、農村振興を支える様々な業務に携わっています。私の主な担当業務は「農業振興地域の整備に関する法律（以下「農振法」という。）」に係る制度の運用です。

農振法では、将来にわたり農業的土地利用を行うべき優良な農地を「農用地区域」に指定し、都市的開発等に規制をかけることで、優良な農地の確保を図っています。日々の業務では、農林水産本省や管内の自治体と協力して、農用地区域の面積調査や農用地区域の変更手続きなどを行っています。

農地は、食料生産の基盤となる重要な資源です。その確保に寄与する業務にやりがいを感じています。

～幅広い視点で農政に携わることができる～

Q2 調査計画系を志望した理由は？

大学で農学について学ぶ中で、農業・農村に関わる仕事がしたいと思いました。また、広く人のためになることをしたいという思いから公務員を志望しており、これらの希望に合致したのが農政局でした。業務内容が農業現場に近いこと、全国転勤や海外派遣の実績があることなど、幅広い視点で農政に携わっていることに魅力を感じました。

～日々学びながら働ける職場～

Q3 職場環境について

業務では分からない事も多いですが、上司の方々に相談しやすい環境です。初任者研修等も充実しており、日々学びながら働くことができます。

また、定時退庁や有給休暇の取得によるワークライフバランスの向上が推奨されており、プライベートの時間を確保しやすいです。

お問い合わせ窓口

- 農業土木系と調査計画系の担当窓口は次のとおりです。
ご質問、ご要望などあれば、遠慮なく連絡下さい。

区分	担当者	メールアドレス	電話番号 (直通)
農業土木	近畿農政局 農村振興部 設計課 林 活歩 竹村 英典	katsuho_hayashi450@maff.go.jp hidenori_takemura400@maff.go.jp	075-414-9513
調査計画	近畿農政局 農村振興部 農村計画課 野田 和史 農村環境課 木村 裕美子	kazufumi_noda500@maff.go.jp yumiko_kimura600@maff.go.jp	075-414-9050 075-414-9052

近畿農政局採用情報はホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/soumu/jinji/index.html>

農業農村工学プロモーションツール

<https://jagree-ikusei.jp/>

「農業農村工学の世界」CONCEPT MOVIE

